

授業科目 装具Ⅰ（体幹装具）

【担当教員名】 月城慶一	対象学年	2	対象学科	義肢装具自立支援学科
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

本科目はカリキュラムのうち最初の臨床装具学であるため、はじめに各装具学に共通する基本事項（＝概論）を学ぶ。次に各論として、体幹装具を必要とする対象者（患者/障害者）の身体的及び社会的な個別要件を正確に理解し、それらに合致した装具の設計、製作及び適合作業を的確に行うために必要な理論と知識を習得する。また、臨床現場において対象者への体幹装具の供給を円滑に行うために必要となる知識、すなわち関連法規、支給制度、コストの算出法についても学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 装具の使用目的を正しく理解するために、医師及びリハビリテーションスタッフと円滑なコミュニケーションが行える。
2. 装具に関わる各臨床工程において、対象者への説明が的確に行える。
3. 対象者の安全性とプライバシー、及び義肢装具士の作業効率に配慮した作業環境設定について説明できる。
4. 対象者の身体機能等、体幹装具の設計に必要な情報の種類と収集法（＝評価法）について説明できる。
5. 対象者固有の条件に対応した選択可能な体幹装具のデザイン、材料、コンポーネントについて列挙できる。
6. バイオメカニクス及びバソメカニクスの検討に基づいた体幹装具のアライメントについて説明できる。
7. 体幹装具のチェック・アウト・プロトコルについて説明できる。
8. 体幹装具装着における問題点について、正しい対処法を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	基礎装具学概論：関連用語と定義、分類、装具の使用目的と設計の原則	1	講義・月城
2	基礎臨床装具学：リハビリテーション・チーム・アプローチ	1	講義・阿部
	基礎臨床装具学：装具の臨床工程と義肢装具士の役割	1, 2, 3, 4	講義・坂井
	基礎臨床装具学：関連法規と支給制度(概略)	2	講義・阿部
3	基礎体幹装具学概論：関連用語、分類、体幹装具の使用目的、設計の原則	1	講義・坂井/阿部
4	臨床体幹装具学：腰仙椎装具(機能解剖、疾患と装具、評価法、装具工程)	1～8	講義・月城
5	臨床体幹装具学：胸腰仙椎装具(機能解剖、疾患と装具、評価法、装具工程)	1～8	講義・坂井
6	臨床体幹装具学：頸椎装具(機能解剖、疾患と装具、評価法、装具工程)	1～8	講義・月城
7	臨床体幹装具学：側彎症装具(機能解剖、疾患と装具、評価法、装具工程)	1～8	講義・坂井

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	<装具学 (医歯薬出版)>	¥6,200-	>	
	<新編装具治療マニュアル (医歯薬出版)>	¥7,000-	>	
参考書	<Orthotics And Prosthetics in Rehabilitation>	<Michelle M. Lusardi et al.>		
	<ATLAS of Orthoses and Assistive Devices>	<Bertam Goldberg, et al.>		
	<Biomechanical basis of Orthotic Management>	<P. Bowker, et al.>		
その他の資料	上記教科書あるいは参考書の要点を抜粋した紙資料、プレゼンテーション			

【評価方法】 筆記試験の結果で判断する。	【履修上の留意点】
-------------------------	-----------

義肢装具自立支援学科 専門